

科目名 (科目番号)	理学療法 治療計画論 (062113)	教員名	桐山 希一 縄井 清志 小林 聖美 林 隆司	学科等	理学療法	必須	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	運動器障害、神経系障害、内部障害、発達障害の四つのそれぞれの領域について症例(ペーパーペイシエント)を検討します。これらそれぞれの患者さんについて議論し考察するなかで、疾患に対する知識や、理学療法を計画するまでの過程を学んで下さい。授業は「症例の状態を分析する」「症状を書き出して整理する」「必要となる情報・検査・測定を調べる」「提示された評価結果を整理して意味づける」といった進め方をします。実際にその患者さんを担当しているつもりで治療を立ててください。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	理学療法治療計画論 概要	到達目標:理学療法評価におけるセラピストの思考過程を理解する。 学習目標:「検査と測定」から「評価」へ、「統合と解釈」そして治療計画の過程を学ぶ。					
	2	各障害領域ごとの学習内容 について	到達目標:グループ学習の内容と、準備すべき事項を理解する。 学習目標:各障害領域ごとにグループで学習する課題のオリエンテーションを行う。					
	3	グループ学習 第1期	到達目標:それぞれの障害についての障害の特徴を理解する。 学習内容:代表的な疾患の患者さんを具体的にイメージしてみよう。					
	4	グループ学習 第1期	"					
	5	グループ学習 第1期	"					
	6	グループ学習 第2期	"					
	7	グループ学習 第2期	"					
	8	グループ学習 第2期	"					
	9	グループ学習 第3期	"					
	10	グループ学習 第3期	"					
	11	グループ学習 第3期	"					
	12	グループ学習 第4期	"					
	13	グループ学習 第4期	"					
	14	グループ学習 第4期	"					
	15	まとめ	到達目標:今後の学習あるいは臨床で学ぶべきことが分かるようになる。 学習目標:治療計画の実践力を身につけるため必要となるものは何か考えてみよう。					
成績評価の方法・基準	各障害領域につき25点配分、合計点(100点満点)にて評価して60点以上を合格とする。							
教科書	各教員より小冊子、資料を配付							
参考図書	理学療法技術ガイド 4版			石川 斉 武富由雄 市橋則明		文光堂		
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習の内容は授業の進行度合によっては変更することがあります。 臨床での実践を想定した授業となります。臨床未経験ですから、イメージしづらいこともあると思います。できればオフィスアワーを利用して担当教員に相談するようにしてください。 							